



エクスタロット ルールブック

エクスタロットの遊び方コンテスト参加作品

030 神器に宿る精霊

亀井遥

エクスタロットの遊び方コンテスト参加作品

テーマ：神器と精霊

ゲーム名：神器に宿る精霊

バージョン：v1.00

考案者：亀井遥

受付日：2020年12月29日

概要 神器は弱いですが精霊がいれば特別な能力を発揮

プレイ人数 2～5

使うカード A、K、Q、J、10から2、Nの、計56枚。

プレイの流れ トリックテイキングのプレイ。神器は弱いですが精霊がいるときは特別な能力を発揮する。

参照ルール ナポレオン、その他トリックテイキング系のゲーム

概要 なるべく多くの絵札を集める

プレイ人数 2人から5人

使うカード A、K、Q、J、10から2、Nの、計56枚。

カードの強い順

A (精霊) > K > Q > J > 10 . . . 2 > N (神器)

プレイ方法

1. はじめに

親は、全員に同じ枚数のカードを配ります。端数があるときは、捨て札として中央に見えるように置きます。

2. プレイのやりかた

以下は、トリックテキングというプレイ形式になります。

親から始めて、時計まわりに1枚のカードを出していきます。親が出した札を、リードといいます。他の人は、リードと同じマークの札を持っていたなら、そこから選んで出さなければいけません。持っていなかったら、どれを出しても構いません、

全員がカードを出したなら、比較をします。勝利するカードは、後で説明する例外を除いて、リードと同じマークのなかでいちばん強いカードです。

勝ったカードを出したプレイヤーは、そのときに出たカードのうち絵札 (A、K、Q、J、Nの5種類) を獲得したことになり、自分の手元に置きます。残りは、捨て札として中央に重ねます。

以降は、勝ったプレイヤーが親になって、同じことを、手札が無くなるまで繰り返します。

3. 例外（精霊と神器の能力）

全員が同じマークのカードを出したとき、精霊がなく、2があるなら、2が勝ちます。

精霊のカードが出たなら、精霊が勝ちます。2枚以上の精霊が出たなら、リードと同じマークの精霊が勝ちます。それがないときは、最後に出た精霊が勝ちます。

ただし、勝ちの状態の精霊と同じマークの神器が出ているなら、神器が勝ちます。このとき、その神器のカードを出した人は、同じマークの精霊のカードを出した人がこれまでに獲得した絵札を全部取って、自分のものにします。

4. 勝敗のチェック

最後の札の出し合いが終わったら、自分が獲得した絵札の枚数を数え、最も多い人が勝ちになります。

5. 反則の扱い

リードと同じマークの札を持っているのに出さなかった場合は反則であり、そのことが分かった時点で失格になります。失格の人はプレイを継続できませんが、勝者にはなれません。

ルール募集

エクスタロットを使ったゲームのルールを募集しています。応募のあったルールは、エクスタロットのプレイに適しているか審査され、考案者の氏名、受付の日付とともにpdfで公開されます。考案者は、すでに掲載されたルールを修正・改良することもできます。ルールの申請方法は、エクスタロット・ゲーム情報サイト(<http://xtarot.jp/>)をご覧ください。

エクスタロットは、友達とプレイしながら、ルールを面白く改良していくことを目標にしています。そのため、ハード（カード）とソフト（ルール）を分けています。エクスタロット・ゲーム情報サイトでは、最新のルールやカードの情報を紹介しています。

神器に宿る精霊

著者 亀井遥

2021年1月4日発行 v1.00

発行者 有限会社銀河企画 (GPI.JP)

©2020 亀井遥／有限会社銀河企画